



レポートの使用

この章は、次の項で構成されています。

- [レポート データの表示方法](#) (1 ページ)
- [セキュリティ管理アプライアンスによるレポート用データの収集方法](#) (2 ページ)
- [レポート データのビューのカスタマイズ](#) (3 ページ)
- [レポートに含まれるメッセージやトランザクションの詳細の表示](#) (10 ページ)
- [電子メール レポートのパフォーマンスの向上](#) (10 ページ)
- [レポートング データおよびトラッキング データの印刷およびエクスポート](#) (11 ページ)
- [レポートおよびトラッキングにおけるサブドメインとセカンドレベルドメインの比較](#) (15 ページ)
- [すべてのレポートのトラブルシューティング](#) (15 ページ)
- [電子メール レポートおよび Web レポート](#) (16 ページ)

レポート データの表示方法

表 1: レポート データの表示方法

目的	参照先
Web ベースのインタラクティブ レポート ページを表示およびカスタマイズする	<ul style="list-style-type: none">• レポート データのビューのカスタマイズ (3 ページ)• 中央集中型の電子メールセキュリティ レポートングの使用• 集約されたポリシー、ウイルス、およびアウトブレイク隔離
PDF レポートまたは CSV レポートを自動的に繰り返し生成する	<ul style="list-style-type: none">• メール レポートのスケジュール設定• Web レポートのスケジュール設定

目的	参照先
PDF レポートまたは CSV レポートをオンデマンドで生成する	<ul style="list-style-type: none"> • オンデマンドでのメール レポートの生成 • オンデマンドでの Web レポートの生成
raw データを CSV (カンマ区切り) ファイルとしてエクスポートする	<ul style="list-style-type: none"> • レポーティングデータおよびトラッキングデータの印刷およびエクスポート (11 ページ) • カンマ区切り (CSV) ファイルとしてのレポートデータのエクスポート (13 ページ)
レポートデータの PDF を生成する	レポーティングデータおよびトラッキングデータの印刷およびエクスポート (11 ページ)
レポート情報を自分自身や他のユーザに電子メールで送信する	<ul style="list-style-type: none"> • オンデマンドでのメール レポートの生成 • メール レポートのスケジュール設定 • オンデマンドでの Web レポートの生成 • Web レポートのスケジュール設定
スケジュールされたレポートまたはオンデマンド レポートのアーカイブ済みのコピーを、システムから削除されるまで表示する	アーカイブ済みの Web レポートの表示と管理
特定のトランザクションに関する情報を検索する	レポートに含まれるメッセージやトランザクションの詳細の表示 (10 ページ)



(注) ログイングとレポーティングの違いについては、[ログイングとレポーティング](#)を参照してください。

セキュリティ管理アプライアンスによるレポート用データの収集方法

セキュリティ管理アプライアンスは、約 15 分ごとにすべての管理対象アプライアンスからすべてのレポートのデータを取得し、これらのアプライアンスからのデータを集約します。アプライアンスによっては、個々のメッセージにセキュリティ管理アプライアンス上のレポーティングデータを含める際に多少時間がかかる場合があります。データの詳細については、[システムステータス (System Status)] ページを確認してください。

レポーティングデータには、IPv4 と IPv6 の両方に関係するトランザクションが含まれます。



- (注) セキュリティ管理アプライアンスは、レポートのデータを収集する際に、セキュリティ管理アプライアンス上で時間設定を行った際に設定した情報からタイムスタンプを適用します。セキュリティ管理アプライアンス上の時間設定の詳細については、[システム時刻の設定](#)を参照してください。

レポートデータの保存方法

すべてのアプライアンスがレポートデータを保存します。次の表は、各アプライアンスがデータを保存する頻度を示しています。

表 2: Eメールセキュリティアプライアンスと Web セキュリティアプライアンスでのレポートデータの保存

	毎分	毎時 (Hourly)	[毎日 (Daily)]	[毎週 (Weekly)]	毎月	年次 (Yearly)
Eメールセキュリティアプライアンスまたは Web セキュリティアプライアンスでのローカルレポート	•	•	•	•	•	
Eメールセキュリティアプライアンスまたは Web セキュリティアプライアンスでの中央集中型レポート	•	•	•	•		
セキュリティ管理アプライアンス		•	•	•	•	•

レポートングおよびアップグレードについて

新しいレポートング機能は、アップグレード前に実行されたトランザクションには適用できない場合があります。これは、これらのトランザクションについては、必須データが保持されていない場合があるためです。レポートングデータおよびアップグレードに関連する制限については、ご使用のリリースのリリースノートを参照してください。

レポートデータのビューのカスタマイズ

Web インターフェイスでレポートデータを表示する場合、ビューをカスタマイズできます。

目的	操作手順
アプライアンスまたはレポートグループごとにデータを表示する	アプライアンスまたはレポートンググループのレポートデータの表示 (4 ページ)
時間範囲を指定する	レポートの時間範囲の選択 (5 ページ)

目的	操作手順
(Web レポートの場合) チャート化するデータを選択する	(Web レポートのみ) チャート化するデータを選択 (6 ページ)
テーブルをカスタマイズする	レポート ページのテーブルのカスタマイズ (7 ページ) を参照してください
表示する特定の情報またはデータのサブセットを検索する	<ul style="list-style-type: none"> 電子メールレポートについては、検索およびインタラクティブ電子メール レポート ページです。 Web レポートについては、ほとんどのテーブルの下方にある [検索 (Find)] オプションまたは [フィルタ (Filter)] オプションを探してください。 一部のテーブルには、集約したデータの詳細へのリンク (青色のテキスト) が含まれます。
レポート関連の設定を指定する	プリファレンスの設定 を参照してください
使用したいチャートと表だけを使ったカスタム レポートを作成する	カスタム レポート (7 ページ) を参照してください。



(注) すべてのレポートにすべてのカスタマイズ機能を使用できるわけではありません。

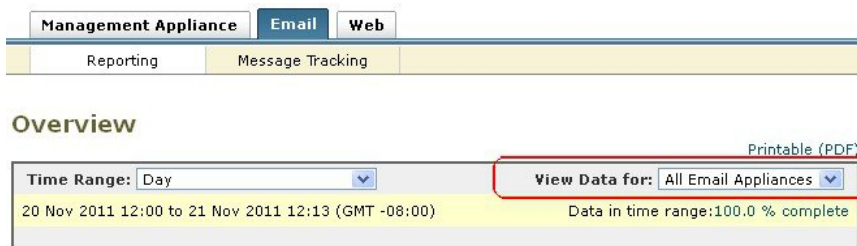
アプライアンスまたはレポートグループのレポートデータの表示

電子メールおよび Web の概要レポートについて、および電子メールのシステム キャパシティ レポートについては、すべてのアプライアンスから、または中央で管理されている 1 台のアプライアンスからデータを表示できます。

電子メール レポートでは、[電子メール レポートグループの作成](#)の説明に従い E メールセキュリティ アプライアンスのグループを作成した場合、各レポートグループのデータを表示できます

ビューを指定するには、サポートされるページの [次のデータを参照 (View Data for)] リストからアプライアンスまたはグループを選択します。

図 1: アプライアンスまたはグループの選択



最近、別のセキュリティ管理アプライアンスからのデータをバックアップしたセキュリティ管理アプライアンスでレポートデータを表示する場合は、まず、[管理アプライアンス (Management Appliance)] > [集約管理サービス (Centralized Services)] > [セキュリティアプライアンス (Security Appliances)] で各アプライアンスを追加する必要があります (ただし、各アプライアンスとの接続は確立しないでください)。

レポートの時間範囲の選択

ほとんどの事前定義レポートページでは、含まれるデータの時間範囲を選択できます。選択した時間範囲は、[時間範囲 (Time Range)] メニューで異なる値を選択するまで、すべてのレポート ページに対して使用されます。

使用可能な時間範囲オプションは、アプライアンスごとに異なり、またセキュリティ管理アプライアンス上の電子メール レポートおよび Web レポートによって異なります。

表 3: レポートの時間範囲オプション

オプション	説明	SMA 電子メール レポート	ESA	SMA Web レポート	WSA
時間 (Hour)	過去 60 分間と最大 5 分間の延長時間		•		•
日 (Day)	過去 24 時間	•	•	•	•
Week	当日の経過時間を含む、過去 7 日間	•	•	•	•
30日間 (30 days)	当日の経過時間を含む、過去 30 日間	•	•	•	•
90日間 (90 days)	当日の経過時間を含む、過去 90 日間	•	•	•	
年 (Year)	過去 12 ヶ月と現在月の経過日数	•			
[昨日 (Yesterday)]	アプライアンスで定義された時間帯を使用した、前日の 24 時間 (00:00 ~ 23:59)	•	•	•	•
[先月 (Previous Calendar Month)]	月の第 1 日目の 00:00 からその月の最終日の 23:59 まで	•	•	•	

(Web レポートのみ) チャート化するデータの選択

オプション	説明	SMA 電子 メール レ ポート	ESA	SMA Web レポート	WSA
[カスタム範囲 (Custom Range)]	ユーザ指定の時間範囲。 開始日時と終了日時を選択する場合は、このオプションを選択します。	•	•	•	•



(注) レポート ページの時間範囲は、グリニッジ標準時 (GMT) オフセットで表示されます。たとえば、太平洋標準時は、GMT + 7 時間 (GMT + 07:00) です。



(注) すべてのレポートで、システム設定の時間帯に基づき、グリニッジ標準時 (GMT) オフセットで日付および時刻情報が表示されます。ただし、データエクスポートでは、世界の複数のタイムゾーンの複数のシステムに対応するために、GMT で時刻が表示されます。



ヒント ログインするたびに常に表示する、デフォルトの時間範囲を指定できます。詳細については、[プリファレンスの設定](#)を参照してください。

(Web レポートのみ) チャート化するデータの選択

各 Web レポーティング ページのデフォルト チャートには、一般に参照されるデータが表示されますが、代わりに異なるデータをチャート化するように選択できます。ページに複数のチャートがある場合は、チャートごとに変更できます。

通常、チャートのオプションは、レポート内のテーブルのカラムと同じです。ただし、チャート化できない列もあります。

チャートには、関連付けられたテーブルに表示するように選択した項目 (行) 数に関係なく、テーブルの列の使用可能なすべてのデータが反映されます。

ステップ 1 チャートの下の [チャートオプション (Chart Options)] をクリックします。


ステップ 2 表示するデータを選択します。

ステップ 3 [完了 (Done)] をクリックします。

レポートページのテーブルのカスタマイズ

レポートページ内のインタラクティブテーブルの情報を表示、カスタマイズ、ソートできます。選択したビューは、レポートページにデータを表示するために使用されます。

表 4: レポートページのテーブルのカスタマイズ

目的	操作手順	追加情報
<ul style="list-style-type: none"> 追加の列を表示する 表示可能な列を非表示にする テーブルに使用可能な列を判断する 	<ol style="list-style-type: none">  をクリックします。 表示する列を選択し、[閉じる (Close)] をクリックします。 	<p>ほとんどのテーブルでは、デフォルトで一部の列が非表示になります。</p> <p>レポートページごとに、異なる列が提供されます。</p> <p>それぞれのテーブルのテーブル列の説明を参照してください。</p>
選択した見出しでテーブルをソートする	列の見出しをクリックします。	-
テーブルの列の順序を変える	列の見出しを目的の位置までドラッグします。	-
可能な場合は、テーブルエントリの詳細を表示する	テーブル内の青色のエントリをクリックします。	レポートに含まれるメッセージやトランザクションの詳細の表示 (10 ページ) も参照してください。
追加する行の詳細を表示します。	追加する行の詳細を表示するには、テーブルを下方向にスクロールします。	-
特定のサブセットにデータをフィルタリングします。	可能な場合は、特定のテーブルの下にあるフィルタ設定で値を入力します。	Web レポートの使用可能なフィルタについては、各レポートページの説明に記載されています。 新しい Web インターフェイスの Web レポートページの概要 を参照してください。

カスタム レポート

既存のレポートのページからチャート（グラフ）とテーブルを組み合わせることでカスタム電子メールセキュリティレポートのページおよびカスタム Web セキュリティレポートのページを作成できます。



(注) Email Security Appliances のリリース 9.6 以降では、[マイレポート (My Reports)] は [マイダッシュボード (My Dashboard)] と呼ばれます。

目的	操作手順
カスタム レポート ページにモジュールを追加	参照先 : <ul style="list-style-type: none"> • カスタム レポートに追加できないモジュール (8 ページ) • カスタム レポート ページの作成 (9 ページ)
カスタム レポート ページの表示	<ol style="list-style-type: none"> 1. [モニタ (Monitor)] > [メール (Email)] または [ウェブ (Web)] > [レポート (Reporting)] > [レポート (Reporting)] > [マイレポート (My Reports)] を選択します。 2. 表示する時間範囲を選択します。選択した時間範囲は [マイレポート (My Reports)] ページのすべてのモジュールを含むすべてのレポートに適用されます。 <p>新しく追加されたモジュールはカスタム レポートの上部に表示されます。</p>
カスタム レポート ページでのモジュールの再配置	目的の場所にモジュールをドラッグアンドドロップします。
カスタム レポート ページからのモジュールの削除	モジュールの右上にある [X] をクリックします。
カスタム レポートの PDF または CSV バージョンの生成	参照先 : <ul style="list-style-type: none"> • オンデマンドでのメール レポートの生成 • オンデマンドでの Web レポートの生成
カスタム レポートの PDF または CSV バージョンの定期的な生成	参照先 : <ul style="list-style-type: none"> • メール レポートのスケジュール設定 • Web レポートのスケジュール設定

カスタム レポートに追加できないモジュール

- [管理アプライアンス (Management Appliance)] > [集約管理サービス (Centralized Services)] > [システム ステータス (System Status)] ページのすべてのモジュール

- [Web] > [レポート (Reporting)] > [使用可能なデータ (Data Availability)] | ページのすべてのモジュール
- [メール (Email)] > [レポート (Reporting)] > [有効なレポートデータ (Reporting Data Availability)] | ページのすべてのモジュール
- [メール (Email)] > [メッセージ トラッキング (Message Tracking)] > [有効なメッセージ トラッキング データ (Message Tracking Data Availability)] | ページのすべてのモジュール
- 送信者プロフィール詳細レポートのページからの、[SenderBase からの最新情報 (Current Information from SenderBase)]、[送信者グループ情報 (Sender Group Information)]、および [ネットワーク情報 (Network Information)] といったドメイン単位のモジュール
- アウトブレイク フィルタ レポート ページの [過去 1 年間のウイルス アウトブレイク サマリー (Past Year Virus Outbreak Summary)] チャートおよび [過去 1 年間のウイルス アウトブレイク (Past Year Virus Outbreaks)] テーブル
- 検索結果 (Web トラッキングの検索結果を含む)

カスタム レポート ページの作成

始める前に

- 追加対象のモジュールが追加可能であることを確認します。[カスタムレポートに追加できないモジュール \(8 ページ\)](#) を参照してください。
- モジュールの右上の [X] をクリックして、不要なデフォルト モジュールを削除します。

ステップ 1 以下のいずれかの方法でカスタム レポート ページにモジュールを追加します。

(注) 一部のモジュールは、以下のいずれかの方法を使用した場合のみ利用できます。ある方式を使用してモジュールを追加できない場合は、別の方法を試してください。

- 追加するモジュールがある [メール (Email)] タブまたは [ウェブ (Web)] タブのレポート ページに移動し、モジュールの上部にある [+] ボタンをクリックします。
- [モニタ (Monitor)] > [メール (Email)] または [ウェブ (Web)] > [レポート (Reporting)] > [マイレポート (My Reports)] に移動し、いずれかのセクションの上部にある [+] [レポートモジュール (Report Module)] ボタンをクリックして、追加するレポートモジュールを選択します。検索しているモジュールを表示するには、[マイレポート (My Reports)] ページの各セクションの [+] [レポートモジュール (Report Module)] ボタンをクリックする必要があります。

各モジュールは一度だけ追加できます。すでに特定のモジュールをレポートに追加している場合は、追加オプションが利用できなくなっています。

ステップ 2 カスタマイズした (たとえば、カラムの追加、削除、または順序変更をした、あるいはチャートにデフォルト以外のデータを表示した) モジュールを追加する場合は、これらのモジュールを [マイレポート (My Reports)] ページでカスタマイズします。

モジュールがデフォルト設定に追加されます。元のモジュールの時間範囲は保持されません。

ステップ 3 別に凡例を持つチャート（たとえば、[概要 (Overview)] ページからのグラフ）を追加する場合は、別途凡例を追加します。必要に応じて、説明するデータの隣にドラッグアンドドロップします。

レポートに含まれるメッセージやトランザクションの詳細の表示

ステップ 1 レポート ページのテーブルにある青色の番号をクリックします

（これらのリンクがあるのは、一部のテーブルのみです）。

この数に含まれるメッセージまたはトランザクションは[メッセージトラッキング (Message Tracking)]または[Webトラッキング (Web Tracking)]にそれぞれ表示されます。

ステップ 2 メッセージまたはトランザクションのリストを表示するには、スクロール ダウンします。

次のタスク

- [メール メッセージのトラッキング](#)
- [Web トラッキング](#)

電子メール レポートのパフォーマンスの向上

月内に固有のエントリが多数発生したことで、集約レポートのパフォーマンスが低下する場合は、レポートフィルタを使用して前年を対象としたレポート（[前年 (Last Year)] レポート）でのデータの集約を制限します。これらのフィルタにより、レポート内の詳細、個々の IP、ドメイン、またはユーザ データを制限できます。概要レポートおよびサマリー情報は、引き続きすべてのレポートで利用できます。

CLI で `reportingconfig > filters` のメニューを使用すると、1 つ以上のレポート フィルタを有効にできます。変更を有効にするには、変更をコミットする必要があります。

- [IP接続レベルの詳細 (IP Connection Level Detail)]。このフィルタを有効にすると、セキュリティ管理アプライアンスは、個々の IP アドレスに関する情報を記録しません。このフィルタは、攻撃による大量の着信 IP アドレスを処理するシステムに適しています。

このフィルタは、次の [前年 (Last Year)] レポートに影響を与えます。

- 受信メールの送信者プロファイル
- 受信メールの IP アドレス
- 送信メッセージ送信者の IP アドレス

- [ユーザの詳細 (User Detail)]。このフィルタを有効にすると、セキュリティ管理アプライアンスは、電子メールを送受信する個々のユーザ、およびユーザの電子メールに適用されるコンテンツ フィルタに関する情報を記録しません。このフィルタは、何百万もの内部ユーザの電子メールを処理するアプライアンス、またはシステムが受信者のアドレスを検証しない場合に適しています。

このフィルタは、次の [前年 (Last Year)] レポートに影響を与えます。

- 内部ユーザ
 - 内部ユーザの詳細
 - 送信メッセージ送信者の IP アドレス
 - コンテンツ フィルタ
- [メールトラフィックの詳細 (Mail Traffic Detail)]。このフィルタを有効にすると、セキュリティ管理アプライアンスは、アプライアンスがモニタする個々のドメインおよびネットワークに関する情報を記録しません。このフィルタは、有効な着信または発信ドメインの数が数千万の単位で測定される場合に適しています。

このフィルタは、次の [前年 (Last Year)] レポートに影響を与えます。

- 受信メールのドメイン
- 受信メールの送信者プロファイル
- 内部ユーザの詳細
- 送信メッセージ送信者のドメイン



(注) 過去1時間の最新のレポートデータを表示するには、個々のアプライアンスにログインして、そこでデータを表示する必要があります。

レポートングデータおよびトラッキングデータの印刷およびエクスポート

表 5: レポートングデータおよびトラッキングデータの印刷およびエクスポート

取得対象	RF	SV	操作手順	注記 (Notes)
インタラクティブレポートページの PDF	•		インタラクティブレポートページの右上にある [印刷可能 (PDF) (Printable (PDF))] リンクをクリックします。	PDF には、現在表示しているカスタマイゼーションが反映されます。 PDF は、プリンタ対応の形式に設定されます。

取得対象	RF	CSV	操作手順	注記 (Notes)
レポート データ の PDF	•		<p>スケジュール設定されたレポートまたはオンデマンドのレポートを作成します。参照先：</p> <ul style="list-style-type: none"> • オンデマンドでのメールレポートの生成 • メールレポートのスケジュール設定 • オンデマンドでの Web レポートの生成 • Web レポートのスケジュール設定 	—
raw データ カンマ区切り (CSV) ファイル としてのレ ポート データの エクスポート (13 ページ) も参 照してくださ い。		•	<p>チャートまたはテーブルの下にある [エクスポート (Export)] リンクをクリックします。</p>	CSV ファイルには、チャートや表で見ることのできるデータだけでなく、すべての適用可能なデータが含まれます。
		•	<p>スケジュール設定されたレポートまたはオンデマンドのレポートを作成します。参照先：</p> <ul style="list-style-type: none"> • オンデマンドでのメールレポートの生成 • メールレポートのスケジュール設定 • オンデマンドでの Web レポートの生成 • Web レポートのスケジュール設定 	<p>各 CSV ファイルには、最大 100 行を含めることができます。</p> <p>レポートに複数のテーブルが含まれる場合、各テーブルに対して別個の CSV ファイルが作成されます。</p> <p>一部の拡張レポートは、CSV 形式で使用できません。</p>
さまざまな言語 によるレポート	•		<p>レポートをスケジュール設定するか、オンデマンドで作成するときは、必要なレポート言語を選択します。</p>	<p>Windows コンピュータ上で中国語、日本語、または韓国語で PDF を生成するには、該当するフォントパックを Adobe.com からダウンロードして、ローカル コンピュータにインストールする必要があります。</p>

取得対象	RF	CSV	操作手順	注記 (Notes)
(Web セキュリティ) レポート データのカスタム サブセット (特定のユーザー用のデータなど)。	•	•	[Webトラッキング (Web Tracking)] で検索を実行し、[Webトラッキング (Web Tracking)] ページの [印刷可能なダウンロード (Printable Download)] リンクをクリックします。PDF 形式または CSV 形式を選択します。	<p>PDF には、Web ページのすべての情報が含まれていない場合があります。具体的には、PDF ファイルには以下が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最大 1,000 のトランザクション。 • 詳細を表示する場合、関連する 100 のトランザクション • 関連トランザクションごとに最大 3000 文字。 <p>CSV ファイルには、検索条件に一致するすべての raw データが含まれます。</p>
(電子メール セキュリティ) データのカスタム サブセット (特定のユーザー用のデータなど)。		•	[メッセージトラッキング (Message Tracking)] で検索を実行し、検索結果の上にある [エクスポート (Export)] リンクまたは [すべてをエクスポート (Export All)] リンクをクリックします。	<p>[エクスポート (Export)] リンクでは、表示された検索結果を使用して検索基準で指定された制限まで CSV ファイルをダウンロードします。</p> <p>[すべてをエクスポート (Export All)] リンクでは、検索条件に一致する最大 50,000 件のメッセージを含む CSV ファイルをダウンロードします。</p> <p>ヒント：50,000 件を超えるメッセージをエクスポートする必要がある場合は、短い時間範囲のエクスポートのセットを実行します。</p>

カンマ区切り (CSV) ファイルとしてのレポート データのエクスポート

raw データをカンマ区切り (CSV) ファイルにエクスポートし、Microsoft Excel などのデータベースアプリケーションを使用してアクセスおよび処理できます。データをエクスポートするその他の方法については、[レポート データおよびトラッキング データの印刷およびエクスポート \(11 ページ\)](#) を参照してください。

CSV エクスポートには raw データのみ含まれるため、Web ベースのレポート ページからエクスポートされたデータには、パーセンテージなどの計算データが含まれていない場合があります (そのデータが Web ベースのレポートで表示された場合でも、含まれていない場合があります)。

電子メール メッセージ トラッキングおよびレポーティングデータについては、セキュリティ管理アプライアンスに設定されている内容に関係なく、エクスポートした CSV データはすべて GMT で表示されます。これにより、特に複数のタイムゾーンのアプライアンスからデータを参照する場合に、アプライアンスとは関係なくデータを使用することが容易になります。

次の例は、Anti-Malware カテゴリ レポートの raw データ エクスポートのエントリであり、太平洋夏時間 (PDT) が GMT - 7 時間で表示されています。

Begin Timestamp, End Timestamp, Begin Date, End Date, Name, Transactions Monitored, Transactions Blocked, Transactions Detected

1159772400.0, 1159858799.0, 2006-10-02 07:00 GMT, 2006-10-03 06:59 GMT, Adware, 525, 2100, 2625

表 6: raw データ エントリの表示

カテゴリ ヘッダー	値	説明
タイムスタンプ開始 (Begin Timestamp)	1159772400.0	エポックからの秒数で表されたクエリ開始時刻。
タイムスタンプ終了 (End Timestamp)	1159858799.0	エポックからの秒数で表されたクエリ終了時刻。
開始日 (Begin Date)	2006-10-02 07:00 GMT	クエリの開始日。
終了日 (End Date)	2006-10-03 06:59 GMT	クエリの終了日。
[名前 (Name)]	Adware	マルウェア カテゴリの名前。
モニタリングされたトランザクション (Transactions Monitored)	525	モニタリングされたトランザクション数。
Transactions Blocked	2100	ブロックされたトランザクション数。
検出されたトランザクション (Transactions Detected)	2625	トランザクションの合計数： 検出されたトランザクション数 + ブロックされたトランザクション数。



(注) カテゴリ ヘッダーは、レポートの種類ごとに異なります。ローカライズされた CSV データをエクスポートすると、ブラウザによってはヘッダーが正しくレンダリングされない場合があります。これは、ブラウザによっては、ローカライズされたテキストに対して適切な文字セットが使用されない場合があることから発生します。この問題の回避策としては、ローカルマシンにファイルを保存し、[ファイル (File)] > [開く (Open)] を使用して任意の Web ブラウザでファイルを開きます。ファイルを開いたら、ローカライズされたテキストを表示するための文字セットを選択します。

レポートおよびトラッキングにおけるサブドメインとセカンドレベルドメインの比較

レポートおよびトラッキングの検索では、セカンドレベルのドメイン (<http://george.surbl.org/two-level-tlds> に表示されている地域ドメイン) は、ドメインタイプがサブドメインと同じように見えますが、サブドメインとは別の方法で処理されます。次に例を示します。

- レポートには、**co.uk** などの 2 レベルのドメインの結果は含まれませんが、**foo.co.uk** の結果は含まれます。レポートには、**cisco.com** などの主要な企業ドメインの下にサブドメインが含まれます。
- 地域ドメイン **co.uk** に対するトラッキング検索結果には、**foo.co.uk** などのドメインは含まれませんが、**cisco.com** に対する検索結果には **subdomain.cisco.com** などのサブドメインが含まれます。

すべてのレポートのトラブルシューティング

- [バックアップセキュリティ管理アプライアンスのレポート データを表示できない \(15 ページ\)](#)
- [レポートがディセーブルになっている \(16 ページ\)](#)

関連項目

- [メールレポートのトラブルシューティング](#)
- [Web レポートおよびトラッキングのトラブルシューティング](#)

バックアップセキュリティ管理アプライアンスのレポート データを表示できない

問題

レポートデータを表示するのに、単一の E メールセキュリティアプライアンスまたは Web セキュリティアプライアンスを選択できません。[次のデータを参照 (View Data For)] オプションはレポート ページには表示されません。

解決方法

[管理アプライアンス (Management Appliance)] > [集約管理サービス (Centralized Services)] > [セキュリティアプライアンス (Security Appliances)] で、中央で管理されている各アプライアンスを追加します (ただし、各アプライアンスとの接続は確立しないでください)。 [アプライアンスまたはレポートグループのレポート データの表示 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

[バックアップ中のサービスのアベイラビリティ](#) も参照してください。

レポーティングがディセーブルになっている

問題

進行中のバックアップをキャンセルすると、レポーティングがディセーブルになる場合があります。

解決方法

レポーティング機能は、バックアップが完了すると回復します。

電子メール レポートおよび Web レポート

電子メール レポートに固有の情報については、[中央集中型の電子メールセキュリティ レポーティングの使用](#)を参照してください。

Web レポートに固有の情報については、[中央集中型 Web レポーティングおよびトラッキングの使用](#)を参照してください。